

十和田市の縄文遺跡年表

時代		できごと	市内の遺跡	
旧石器時代				
15000年前	草創期	▲十和田火山噴火 ・土器・石鏃が出現 ・温暖化・海水面上昇	・小田の埋没林(洞内地区)	小田の埋没林
9000年前				
7000年前	早期	▲十和田火山噴火 ・貝塚の出現 ・土偶の出現	・寺上遺跡(赤沼地区) ・中里(2)遺跡(法量地区) ・平窪(2)遺跡(伝法寺地区)	早期土器 
5000年前				
4000年前	前期	▲十和田火山噴火 ・拠点集落の確立	・山ノ外遺跡(立崎地区) ・寺上遺跡 ・明戸遺跡(滝沢地区)	前期土器 
3000年前				
2400年前	中期	三内丸山遺跡	・明戸遺跡 ・寺山(3)遺跡(伝法寺地区) ・家ノ下遺跡(洞内地区)	集落跡(明戸遺跡) 
1500年前				
1000年前	後期	・環状列石出現	・中村平遺跡(米田地区) ・大筋遺跡(法量地区) ・清瀬遺跡(米田地区)	後期土器 
500年前				
300年前	晩期	・遮光器土偶出現	・明戸遺跡 ・夏間木遺跡(切田地区) ・川原(1)遺跡(滝沢地区)	晩期土器 土偶 
100年前				
2400年前	弥生時代	▲十和田火山噴火		